

## 中国初、W杯公式スポンサー「英利」

大詰めを迎えているサッカーワールドカップ。日本や韓国などアジア勢が健闘した今回の大会では、こんなところでもアジアの躍進ぶりがうかがえます。

今回のワールドカップでは、漢字で書かれた広告が異彩を放っています。中国 英利(えいり)。

中国企業として初めて公式スポンサーとなった英利とは、どんな企業なのでしょうか。

河北省にある中国有数のソーラーパネルの英利。操業は12年目にして、従業員は1万人を数えます。本社ビルの廊下には、現地を訪れた社員の写真、それに会場の広告の写真が飾られています。

「W杯スタジアムの『英利』のロゴを見て興奮しました」(英利社員)

スポンサー料の額は20数億円ともいわれていますが、主な取引先は欧米諸国のため、世界的な知名度が上がったのが最大の収穫だといいます。

「サッカーは「世界の共通語ですし、世界は我が社の市場でもあります」(英利 馬学緑副社長)

今回、中国代表チームは出場を逃しましたが、代わりに英利が中国の存在感を示したという声もあります。

「中国の国力が強いから、国にお金があるから海外に出資できるんです」(北京市民)

スポーツの世界大会には今後、中国企業の広告が溢れることになるのかもしれませんが。(09日 07:55)